

生育が旺盛です！  
生育調節で品質アップ！



《生育状況》

- \* 田植え後高温で推移したことから、近年になくイネの生育は早く、旺盛です。
- \* 目標茎数を確保したところは、すみやかに落水し中干しを開始し、地固め後、溝切りを実施しましょう。

中干し適期を過ぎているほ場が多くみられます！早急に中干しを実施してください！

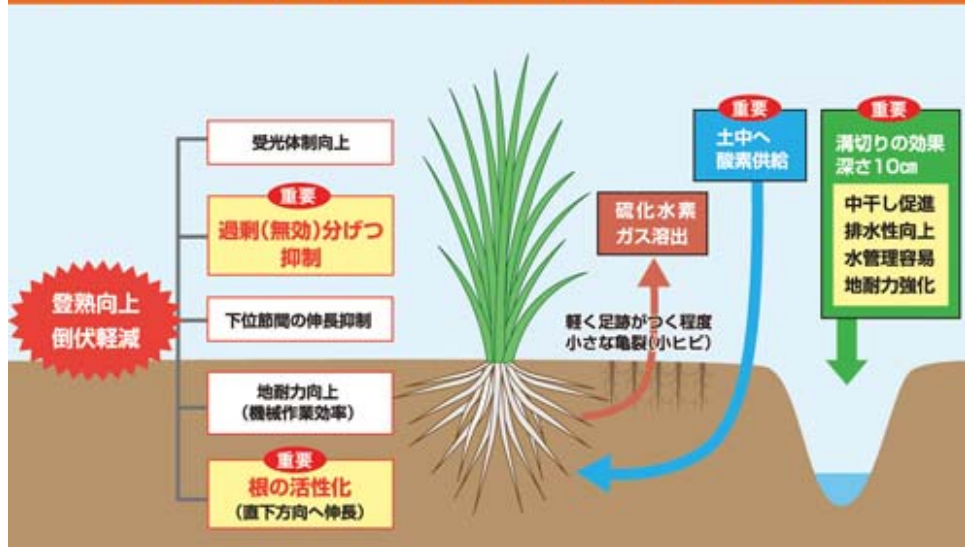
○中干し開始の茎数めやす

	〈コシヒカリ〉	〈こしいぶき〉
坪 50 株植え・・・株当たり	19 本	21 本
坪 60 株植え・・・株当たり	16 本	17 本



中干しの遅れ（生育調節不足）は倒伏、籾数過剰を助長し、品質低下の大きな要因となります！

中干しの効果(稲の体質改善と生育調整)



！注意！

- \* 長すぎる中干しは根域を縮小し品質が低下するので出穂の1ヶ月前には中干しを終了しましょう。
- \* 中干し終了後の急激な灌水は根腐れ等が発生しやすいので浅水の間断灌水を実施し「うわ根の発生促進と根の健全化」に努めましょう。

☆とりこぼし雑草に☆

「ワイドショット1キロ粒剤」

クサネム（10 cmまで） イボクサ（発生初期） アゼナ（10 cm以下）  
オモダカ（30 cm以下） コナギ（5 葉期まで） ヒエ（4 葉期まで）  
○収穫 45 日前まで使用できます。

「レブラス1キロ粒剤」

オモダカ（矢尻3葉期まで） クログワイ（30 cm以下） ホタルイ（花茎 20 cmまで）  
○収穫 60 日前まで使用できます。



# 斑点米防止対策草刈り重点推進期間

第2回

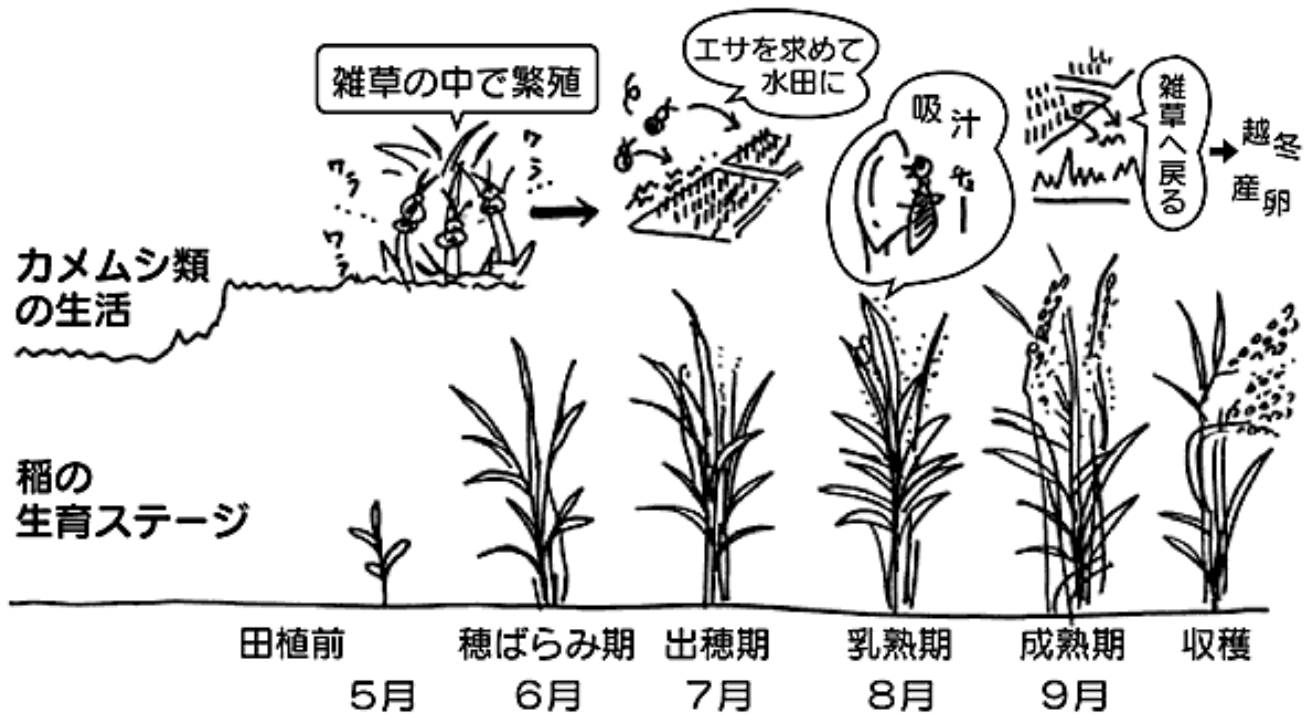
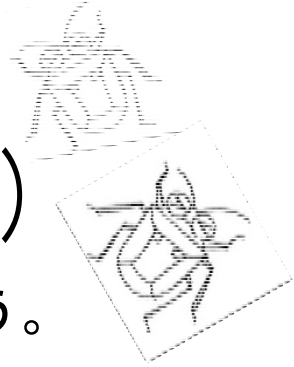
6月25日(土)～7月4日(月)

第2回目以降の草刈りは遅くとも「7月末日」までに終了し8月一杯は草刈りを控えましょう。

## 農道畦畔一斉防除期間

7月9日(土)～7月11日(月)

※地域の防除計画に従った防除をしましょう。



### ！この時期の草刈りが重要！

カメムシは春先から増殖を繰り返します。

出穂期までにどれだけ増殖を抑えるかが被害を抑えるために重要です。

### ！地域一斉の草刈りが効果的！

カスミカメ類は移動能力が高いため、個人で草刈りをしても近くの雑草地に一時非難するだけ・・・なんてことも。

地域にカメムシの避難場所を残さないことで草刈りの効果が高まります。